

平成29年度 福島大学大学院人間発達文化研究科（2次募集）入試問題

専攻（領域）名	学校臨床心理（臨床心理）	科目名	英語	受験番号	
---------	--------------	-----	----	------	--

以下は、Participant role approach to school bullying: implications for interventions という論文の一部です。文章を読んで以下の問いに日本語で答えなさい。

この部分に掲載されている文章については、著作権法等の問題から公表することができませんのでご了承願います。

専攻（領域）名	学校臨床心理（臨床心理）	科目名	英語	受験番号	
---------	--------------	-----	----	------	--

この部分に掲載されている文章については、著作権法等の問題から公表することができませんのでご了承願います。

出典：Participant role approach to school bullying: implications for interventions CHRISTINA SALMIVALLI Journal of Adolescence 1999,22, 453-459

- 問1 学校での bullying には bullies と victims 以外にいくつかの役割が存在すると著者は述べている。bullying の participant roll をすべてあげ、それぞれについて日本語で説明しなさい。
- 問2 Table1 から読み取れることを、日本語で述べなさい。
- 問3 下線部を日本語に訳しなさい。
- 問4 著者は victimized student を別のクラスに編入させることが bullying problems の解決にならない、としているが、その理由はどのように説明されているか。
- 問5 bullying problems に対してどのように対応するべきと著者は主張しているか。